

令和4年度

試験名： 推薦入試

【人間学群 障害科学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
一般	<p>今回の推薦入学試験では、障害科学類の専門分野に関連する外国語（英語）を読ませることによって、外国語（英語）の読解力、論述における要旨の明確性、論理性等を評価することを目的としている。</p> <p>障害科学は学際的な学問でありその専門性は多岐にわたる。今回は、アメリカ大統領バイデン氏の吃音について取り上げた10代向けのニュース記事と吃音の当事者団体のホームページの記事について取り上げた。</p> <p>英文の出典は、TEEN KIDS NEWSの“What is a stutter? The science behind Joe Biden’s speech disorder and how it’s treated”とアメリカ合衆国の当事者団体であるThe Stuttering Foundation of Americaのホームページに掲載された“President Joe Biden”より、いずれも一部改変して用いた。バイデン大統領自身も吃音があること、吃音とはどのような障害か、また吃音に悩む人へのメッセージなど吃音を巡り当事者の視点も含めて読みやすい英語で書かれている。</p> <p>問題1では、本文中に述べられた吃音に関する説明、吃音に悩む人に向けてバイデン大統領からのメッセージについて英文を読み取り日本語に訳すことを求めている。問題2では、バイデン大統領が吃音を克服するために取り組んだ内容について、要約することを求めている。問題3では、2つの文章を読んで、障害のある人が社会で活躍することは、個人や社会に対してどのような影響があるかを論じることを期待している。</p> <p>英文では、バイデン大統領という社会で活躍している人物が、どのように障害と向き合い、対応してきたか、自らの体験をもとに分かりやすく説明がなされている。また、吃音という障害についても、10代にも分かりやすい内容として説明がなされており、当事者からのメッセージも含め、インクルーシブな社会を実現していくためにも、若者に是非広く知っておいて頂きたい貴重な内容と言える。これらは、障害のある人の理解と支援について学ぶ障害科学においては考慮されるべき重要な視点であるとも指摘できる。本問題では、その基本的な部分を読み取り理解するだけでなく、自らの考えを論理的に展開することを求めている。</p> <p>以上のような点から、本問題は障害科学類の小論文問題として取り上げるに適切であると考えられる。</p>